京都教区時報

Home Page http：//www.kyoto.catholic.jp　4345

京都教区広報委員会
（編集長　村上透磨）
京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075－211－3025
FAX 075－211－3041
honbu@kyoto.catholic.jp

2022年　司教年頭書簡　コロナ時代を生きる信仰Ⅱ
「キリスト者の終活を始めよう」を受けて

第２回　天活（てんかつ）

「終活」という言葉は、デジタル大辞泉で『就活』のもじり。『終末活動』の略か。人生の終末を迎えるにあたり、延命治療や介護、葬儀、相続などについての希望をまとめ、準備を整えること」とあります。一方、一般社団法人「終活カウンセラー協会」によると、「２００９年に週刊朝日が初めて『葬儀や墓など人生の終焉に向けての事前準備のこと』という意味で使い、その後の世の中の変化を受けて、『人生の終焉を考えることを通じて、自分を見つめ、今をより良く自分らしく生きる活動』」と定義づけています。

わたしたちキリスト者は、洗礼によって神様から永遠のいのちをいただいていますから、終わりはありません。死というのは天国へ向けてのスタートラインであり、人としての最終目標は神様と直接出会い、永遠の中に入っていくことなのでしょう。しかし、人間は肉体を神様からいただいています。その衰えによる喪失感は、齢を重ねるごとに増していきます。どのように対処すればよいのでしょうか。心理学では末期がんの受容に関して、次のような５つのステップがあるといいます。

①否認　「そんなはずはない！」と死を宣告されたら人はまず否定します。

②怒り　「なぜ自分なのか」という思いがわきます。その怒りを誰かにぶつけ、相手がそれを受け止めてくれれば、自身を価値のある人間と思うようになり、怒りはおさまっていきます。

③取引　「心残りなことをやり遂げるまでは生きていたい、神様もう少し生かしてください」と神様との交渉がはじまります。

④抑うつ　「死は避けられない」。体調の悪化により、死を自覚し、絶望し落胆しますが、十分に悲しむことで、受容へと変化して行きます。

⑤受容　「死は誰にでも訪れる自然なもの」として、心静かに受け入れます。

より良い人生を生きるために終活はあります。キリスト者が天国へ至るまでの時間が与えられているのは、天国の素晴らしさを経験させていただくためです。この世の幸せは、天国の素晴らしさ、凄さとは比べられないでしょう。

日々、回心の道を歩み、祈りの中で生活し、与えられた生を感謝し、喜びながら天国を目指すわたしたちは、「天活＝天国へ行くための活動」を活きたいと思います。

滋賀ブロック担当司祭
小立花　忠

3
2022

連載　第2回
2022年11月27日
待降節第1主日から

ミサの式次第が新しくなります

典礼委員会担当司祭　菅原友明

今月のポイント
「またあなたとともに」

⚠ラテン語規範版は「またあなたの霊とともに」

「主は皆さんとともに」という司式者の呼びかけに対し、これまで会衆は「また司祭とともに」と応じていましたが、新式次第では「**またあなたとともに**」に変更されます。この箇所のラテン語規範版の直訳が「**またあなたの霊とともに**」であることに留意しておきましょう。

「霊とは何ですか？」という問いに対して明瞭な定義を与えることなどできません。霊という言葉は、何かを説明するためにつくられたというよりも、むしろ体験が口から溢れ出て言葉になったようなものだと思うのです（ヘブライ語で霊は「ルーアッハ」で、まさに、思わずため息か何かが口から溢れ出てきたかのような音声です）。それは肉体に対する霊魂のことを指す概念などという単純なものではなくて、神との深く豊かな交わりに招かれ、絶えざる神との繋がりを生きている私たちの、命の無限の領域を射程におさめた言葉です。しかし、だからといって、曖昧模糊としたまやかしの言葉などでは決してありません。それどころか、具体的な現実を生きていく私たちは、命の深い意味を見出すときに、「これだ！」という確かな手応えを抱き、こうして、誰もが自分が「霊」であることを否応なく知るのです。もちろんそれは、人間的な充実感や幸福感などと同じではありません。あえて聖句を当てるとすれば、「愛するものは神を知る」（Ⅰヨハネ4・7）という言葉がいいかもしれません。「神は霊である」（ヨハネ4・24）という単刀直入な言葉も貴重です。神との語らいのうちに生きている私たちは、もうすでに霊的に生きていることを教えてくれるからです。そして「風は思いのままに吹く」（ヨハネ3・8）というイエスの言葉は、霊が私の思い通りにはならないことを語りつつ、霊に従って生きる者の深い安らぎと自由を歌っているのです（※1）。

新しい式次第が「またあなたの霊とともに」というラテン語規範版の直訳を避けた理由については、「『あなたの霊』では身体を離れた霊魂を連想させるなど意味がつかみにくいため、諸外国や他教派の式文も参考にして、これを聖書的語法に基づく全人的な表現と受け止め、『あなた』とする訳が採用されました（※2）」とされています。これからはミサで「**またあなたとともに**」と口にする私たちですが、この「あなた」は、無限の深みと広がりを持ち、神との永遠の交わりのうちに、今を具体的に生きている人間存在への畏敬と、その人間を愛して支える神への果てしない感謝がこめられた、「あなた」になるのではないでしょうか。

※1　ギリシア語では「風」も「霊」も「プネウマ」という同じ言葉

※2　カトリック中央協議会『新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」の変更箇所』16頁（傍点は筆者）

トマのつぶやき

「復活――主は生きておられる」

もともとパスカ（過ぎ越し）と呼ばれ、英語ではイースターと呼ばれていたこの祝日は「復活祭」と訳されてしまいました。これが少々誤解を招いているように思います。「復活」は「復帰」とか「復興」とか「元に戻る」ことと誤解されてしまったのではないでしょうか。

今、コロナの猛威に、経済も社会組織も生活様式もずたずたになりました。そこで復興を目指します。「少なくともコロナ以前の状態に戻りたい」と言うのです。そして必死になって防御にまわります。でも、これではだめなのです。元に戻るのではなく、前進、新しい一歩を踏み出さねばならないのです。

復活というのは「再び活き返る」のではなく、「新しく立ち上がる（レズレクション）」ことで、それだけではなく、聖書的には、「生きている」「神と共に生きる」という意味なのです。

エマオへの二人の弟子に、復活されたキリストが、ご自分が生きていることを告げます。今、この時代にキリストは「みことば」と「聖体」の中に生きていると告げるのです（ルカ24章参照）。

広報委員会担当司祭
村上透磨

2022年度京都カトリック青年センター運営委員紹介

京都カトリック青年センターの、2022年度の運営委員を紹介します。

：名まえ　：所属教会（所在地）　：学生 or 社会人　：一言

京　都　南　部

もとき

粟井　幹　西院（京都府京都市）
春から社会人
今年も何かしらイベントやると思うんで、気軽にご参加ください！

のぞみ

のぞみ　河原町（京都府京都市）
社会人も気付けば節目の年！
青年の仲間達と少しでも繋がれる１年間を目指します。

じんこ

橋本仁子　河原町（京都府京都市）
社会人　京都で教員をしています！
今年度こそ、教区の青年活動に貢献したいです。
応援よろしくお願いします！

はやと

松浦隼人　田辺（京都府京田辺市）
社会人
今年も青年センターをよろしくお願いします！

滋　賀

るっちゃん

池田瑠智亜　唐崎（滋賀県大津市）
大学生
元気いっぱい、笑顔いっぱいで頑張ります！

りさこ

新田理紗子　唐崎（滋賀県大津市）
社会人
いつも青年センターの活動へのご支援ありがとうございます！

三　重

さとこ

濱口聡子　伊勢（三重県伊勢市）
社会人　京都市内で医療事務（元・保育教諭）
継続11年目…。長年の経験をもとに、最前線で活躍する青年たちを見守りながら、尽力いたします。

京都教区に携わる青年の中心となって、青年活動の企画や運営、そのサポート等を行いたいと考えています。
2022年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

任期：2022年4月1日～2023年3月31日

※現在、京都北部・奈良に在籍する青年はいませんが、
京都教区内全域の皆さんとのつながりを楽しみに、活動しています。

青年センターあんてな

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。

３月のお知らせ

教　　区

広報委員会

教区時報の５月号の原稿締切り日は３月22日㊋です。

諸　団　体

京都カトリック混声合唱団

練　習：13日㊐ 14:00 洛星宗教研究館
26日㊏ 18:00
ミサ奉仕後 河原町教会聖堂

現在活動休止中。再開時、団員には連絡します。

問合せ：075(951)4283 則武　隆

コーロ・チェレステ（女声コーラス）

練　習：10日㊍、24日㊍ 10:00
河原町教会２階楽廊

問合せ：075(701)3303 岡田久美

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は『カ障連大阪フレンドリー点字部』嶽崎（たけざき）裕子さんまでお申込みください。
Tel・Fax/079（431）8601

心のともしび　ラジオ番組案内
（全国34局で放送）

ＫＢＳ京都　㊊～㊎ 朝５:55
㊏ 朝５:15
ラジオ関西　㊊～㊎ 朝５:00
㊐ 朝６:05

３月のテーマ「無欲無私」
ホームページもご覧ください。
https://www.tomoshibi.or.jp/

４月のお知らせ

信仰教育委員会

小・中学生対象「ミサを学ぶ」

日　時：２日㊏ 14:00～16:00
場　所：聖ヴィアトール会聖堂
講　師：信仰教育委員会担当司祭
対　象：小学校新５年生・新６年生・新中学１年生・新中学２年生
申　込：各小教区にお送りした指定の申込用紙を使用の上、小教区ごとにまとめてメールかＦＡＸで下記まで。
メール/shinkoukyoikuiinkai@gmail.com
Fax/075(366)6679

チェジュ教区司祭・助祭叙階式

2022年１月15日　三位一体大聖堂にて

おめでとうございます！

ソル・ギョビン
新司祭

ホ・ジュンヒョク
新司祭

イ・ウォンギュ
新助祭

京都教区とチェジュ教区は、2005年６月７日に姉妹教区の縁組をし、司祭・神学生・信徒間の交流が行われています。